

平成17年度(第55回)北海道倶楽部対抗競技

Bグループ

スタート時刻及び組み合わせ表

[第2ラウンド 2005年8月18日(木)]
クラークカントリークラブ(西~東 バック)
主催:北海道ゴルフ連盟

<午前の部>

アウトNO.1(西)

組	時刻	氏名	所属	スコア	氏名	所属	スコア	氏名	所属	スコア
1	6:45	三上 修一	メイフラワー		枝沢 和夫	名寄白樺		佐藤 勝也	サホ口	
2	6:53	棚田 政幸	増毛		沢田 石勝	帯広白樺		田中 一彦	ハッピーバレ	
3	7:01	千葉 昭	函館シーサイド		新谷 光昭	アルベン		高松 勝敏	グレート札幌	
4	7:09	鎌田 敏雄	帯広		星山 昭則	樽前		坂井 尊治	コート旭川	
5	7:21	寺町 隆	北海道クラシック帯広		石岡 幸秀	大沼国際		田中 哲也	白金	
6	7:29	吉田 伸幸	小樽		竹内 雅彦	ノースバレ		前田 人司	札幌札幌	
7	7:37	奥 博	新釧路		佐久間 忠信	札幌エルム		浦川 光広	日高国際	
8	7:45	加藤 晴之	ル・ベタウ		斎藤 光雄	石狩平原		斎藤 宏信	ニドムクラシック	
9	7:53	北野 勝治	羊ヶ丘		笹 清美	旭川国際		岡村 幹夫	北見	
10	8:05	塩田 芳春	恵庭		山岡 秀一	岩見沢雑ヶ森		横田 圭介	アーレックス	
11	8:13	福士 勝美	土別同友会		宮崎 正之	北海道クラシック		伊藤 博正	スコットヒル	
12	8:21	高橋 廣行	ユニオンジャック		向久 保辰生	札幌すすらん		石田 勝彦	平取	
13	8:29	澤口 繁豊	ニセコ		松井 五十二	旭川		平泉 三千年	ワシントン	

インNO.10(東)

組	時刻	氏名	所属	スコア	氏名	所属	スコア	氏名	所属	スコア
1	6:45	大高 基司	北見		吉田 守恵	恵庭		三橋 康則	スコットヒル	
2	6:53	田中 雅己	石狩平原		白石 博	札幌エルム		工藤 孝治	羊ヶ丘	
3	7:01	桂 久	アーレックス		稲垣 雅彦	白金		川村 拓也	ユニオンジャック	
4	7:09	山本 学	岩見沢雑ヶ森		早川 章	ニドムクラシック		内藤 孝志	旭川国際	
5	7:21	高木 保夫	新釧路		内山 一彦	ル・ベタウ		大久保 邦男	旭川	
6	7:29	工津 輝雄	ワシントン		斉藤 洋二	ニセコ		内木 修一	札幌すすらん	
7	7:37	最上 芳正	サホ口		富樫 貢	大沼国際		二瓶 学	北海道クラシック	
8	7:45	越後 利広	グレート札幌		柴田 明彦	平取		西館 義和	名寄白樺	
9	7:53	林 博幸	日高国際		下保 哲彦	北海道クラシック帯広		小田島 政史	名寄白樺	
10	8:05	篠田 光司	ハッピーバレ		瀬越 正己	増毛		本間 司朗	メイフラワー	
11	8:13	渡辺 雅嗣	樽前		佐々木 孝之	函館シーサイド		高井 光碩	ノースバレ	
12	8:21	三浦 久和	アルベン		村角 誠	土別同友会		西條 文雪	小樽	
13	8:29	荒木 地稔	札幌		山下 悟	コート旭川		中島 洋一	帯広	

<午後の部>

アウトNO.1(西)

組	時刻	氏名	所属	スコア	氏名	所属	スコア	氏名	所属	スコア
1	11:00	幅崎 洋三	グレート札幌		西谷 琢猪	樽前		青山 滋	ノースバレ	
2	11:08	江川 幸雄	旭川		西野 目信雄	旭川国際		佐々木 正文	平取	
3	11:16	大塚 恒美	大沼国際		岩城 秀明	アルベン		中村 幸晴	メイフラワー	
4	11:24	寺西 克視	土別同友会		千葉 秀二	ニドムクラシック		谷田 和夫	名寄白樺	
5	11:36	塩飽 美弘	白金		鈴木 努	ユニオンジャック		杉山 徹	北海道クラシック帯広	
6	11:44	木村 幸治	ワシントン		玉置 和弘	日高国際		瀬能 義則	羊ヶ丘	
7	11:52	中島 克幸	帯広白樺		北川 利秋	小樽		堀合 康文	新釧路	
8	12:00	小杉 勇	札幌すすらん		松原 秀明	帯広		柏倉 優治	北見	
9	12:08	高田 尚之	札幌		中村 直行	函館シーサイド		相馬 明夫	スコットヒル	
10	12:20	後藤 肇克	ハッピーバレ		新屋 尚行	増毛		高木 俊充	アーレックス	
11	12:28	伊藤 幸男	恵庭		堀川 秀雄	札幌エルム		伊藤 淳一	岩見沢雑ヶ森	
12	12:36	友重 崇憲	コート旭川		藤谷 智行	ニセコ		坪田 健二	サホ口	
13	12:44	松田 清志	石狩平原		高橋 昭彦	北海道クラシック		佐々木 雅則	ル・ベタウ	

インNO.10(東)

組	時刻	氏名	所属	スコア	氏名	所属	スコア	氏名	所属	スコア
1	11:00	安孫子 純一	アーレックス		藤嶋 信雄	帯広白樺		岸本 憲明	函館シーサイド	
2	11:08	岡田 雅裕	北見		横井 貞樹	帯広		玉川 正吉	新釧路	
3	11:16	島田 裕之	ル・ベタウ		前道 正司	サホ口		中里 邦洋	恵庭	
4	11:24	内山 信一	増毛		山下 雅章	札幌すすらん		名古屋 光弘	石狩平原	
5	11:36	三好 康裕	小樽		沢田 昌宏	ハッピーバレ		丹羽 弘	北海道クラシック	
6	11:44	中山 孝志	ニセコ		山口 茂	札幌		奥山 寿男	コート旭川	
7	11:52	石王 久暢	スコットヒル		山下 照義	岩見沢雑ヶ森		高地 茂行	大沼国際	
8	12:00	藤本 仁	ノースバレ		渡辺 輝明	土別同友会		佐々木 義夫	札幌エルム	
9	12:08	操 上真	白金		和泉 義一	ユニオンジャック		重元 肇	ワシントン	
10	12:20	真嶋 幸一郎	名寄白樺		今井 義市	羊ヶ丘		高岸 順一	日高国際	
11	12:28	長澤 岳志	旭川		新 正之	平取		舟橋 英樹	樽前	
12	12:36	山崎 祐二	旭川国際		小野 守	グレート札幌		高橋 克己	メイフラワー	
13	12:44	熊谷 直哉	ニドムクラシック		井川 佳典	北海道クラシック帯広		鈴木 順	アルベン	

平成 17 年度 (第 55 回) 北 海 道 倶 楽 部 対 抗 競 技

開 催 日 : 平成 17 年 8 月 17 日 (水)・18 日 (木)

開 催 コ ー ス : クラークカントリー クラブ (西 東コース)

競 技 の 条 件

1 . ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2 . 使用球の規格

a . 『公認球リストの条件・ゴルフ規則付 (c)1a』を適用する。 (ゴルフ規則書 161p 参照)

3 . 競技終了時点

本選手権競技は、各会場で最終日に全員のスコアが掲示された時点をもって終了したものとみなす。

4 . ホールとホールの間での練習禁止

競技者は、プレーを終えたばかりのホールの、

(a) グリーン上やその近くで練習ストロークをしたり、(b) グリーン上で球を転がしたり、してはならない。

これらに違反した場合、競技者は次のホールで 2 罰打を受ける。ただし、ラウンドの最終ホールでのときは、競技者はそのホールで罰を受ける。 (ゴルフ規則書 58p、165p 参照)

5 . プレーのペースについて (ゴルフ規則 6-7 注 2)

各ホールのプレーに許される時間の限度を記載した「タイムパー」をスタート時に配布するので、これに遅れないこと。特にトラブルもないのにこの時間より遅れた場合(アウトオブポジション)、ストロークに要する時間を個別に計測する。

(1) アウトオブポジションの定義

(a) あるホールのプレーを終えた時点で、スタートからそこまでの実際の所要時間の合計が、タイムパーに記載された時間をオーバーした場合

(b) 第 2 組以降の組では、前の組との間隔が 1 ホール以上 (パー 4 のホールを基準) 空いた場合

注 : (a)、(b)の両方にあてはまるときに、その組はアウトオブポジションとなる。

(2) アウトオブポジションとなった組に対する措置

ある組がアウトオブポジションとなった場合、競技委員は警告を与え、その組の各競技者のショットに要する時間を計測する。ただし、特別の事情があれば競技委員よりその組に対して前の組との間隔を縮めるように求めるが、合理的時間内に遅れを取り戻すことができれば、各競技者のショットに要する時間は計測しない。特別の事情とは例えばルーリング、紛失球などのトラブルをいう。

(3) ストロークするための許容時間

アウトオブポジションとなった後、遅れをとり戻すまでの全てショットの制限時間は 40 秒」とし、プレー時間の計測は、その競技者のプレーの順番が回ってきた時に開始する。ただし、パー 3 ホールにおいて最初にプレーする者、パー 4 とパー 5 のホールにおいて第 2 打を最初にプレーする者、グリーン周辺やグリーンの上で最初にプレーする者のショットの制限時間は 50 秒」とする。制限時間をオーバータイム (タイムオーバー) した場合、プレーヤーは違反回数に応じて (4) の罰を受ける。

アウトオブポジションとなった組は、その後で遅れを取り戻しても、そのラウンド中のタイムオーバーの回数は持ち越す。

(4) 罰 則

タイムオーバー 1 回目 - 1 罰打 / タイムオーバー 2 回目 - 2 罰打 / タイムオーバー 3 回目 - 競技失格

6 . 競技成立の条件

天候、その他の事情により、6 コースあるいは一部のコースが 2 ラウンドの競技が完了しない場合の処置。

(1) 全参加クラブの選手 8 名の内 7 名が最低 1 ラウンドのプレーが終了しなければ、競技は不成立とする。

(2) A. B. C. グループの各 2 コースの競技成立の状況が異なる場合

両コースとも 1 日だけプレー可能の場合.....1 ラウンドで競技成立とする。

1 コースは 2 日間プレー可能だが、1コースは 2 日間ともプレー不可能の場合
…… プレー可能であったコースでプレーした競技者 7 名のスコアで競技成立とする。

1 コースは 2 日間プレー可能だが、1 コースは 1 日だけプレー可能の場合
…… 2 ラウンド完了した競技者 4 名と 1 ラウンドだけプレーした 3 名のスコアで競技成立とする。
この場合、2 ラウンド完了者に競技失格があったときはそのチームは失格とする。

早朝の天候不良などで、午前中の部のスタートが遅れた場合は、午後の部の競技終了が不可能と判断した時点で、午後の部の競技をキャンセルする。

(3) 競技開始時刻の変更による競技成立の時限

第 1 日目 最初の組のスタート時刻 正午までとする。

第 2 日目 最初の組のスタート時刻 正午までとする。

(4) その他の状況が生じた場合、委員会が決定する。

7. プレーの中断と再開

(1) プレーの中断 (落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。

この条件の違反の罰は競技失格。(ゴルフ規則書 6-8b 注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

または サイレンを使用せず本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

8. スタート時間

規則 33-7 に規定するような、競技失格の罰を免除する正当な事情がないときは、プレーヤーが自分のスタート時間後 5 分以内にプレーできる状態でスタート地点に到着したときは、遅刻の罰は、最初のホール 2 打。

なお、5 分を越える遅刻に対する罰は競技失格。

9. 移動

正規のラウンド中の移動について『ゴルフ規則付 (c)9 移動』を適用する。(ゴルフ規則書 166p 参照)

コース内に設置してあるマンリフトは使用できる。

10. キャディー

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付 (c)3』を適用する。(ゴルフ規則書 163p 参照)

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。

3. ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラルウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

東 6 ホールのウォーターハザードの縁の土留用の材木は、コースと不可分の部分(スレーザグリーン)とする。

西 1 のグリーン右下のラテラルウォーターハザード内に、そのホールでプレーした球が止まった場合は、規則 26-1 による処置の外に「指定ドロップ区域」に球をドロップすることができる。

4. 排水溝は動かせない障害物とする。

5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。

6. ティインググラウンド周辺およびウォーターハザード側壁やスレーザグリーンの土留めのための材木の側壁は、コースと不可分の部分とする。

7. 樹木保護のための施設(巻網など)は樹木の一部とみなす。
ただし、樹木のまき網にはさまった球は、罰なしに、その真下の地点から1クラブレングス以内で、しかもホールに近づかない所にドロップすることができる。取り出した球は拭くことができる。
その球をすぐに取り戻せない場合には、別の球に取り替えることができる。このローカルルールの違反の罰は、2打。
8. Par3ホールにある防球ネットによる障害(規則24-2a)のため、規則24-2bの救済を受ける場合には、その障害物の上を越えたり、中や下を通さずに、ニヤレストポイントを決定しなければならない。
このローカルルールの違反の罰は、2打。
9. グリーンに近接する動かさない障害物について、『ゴルフ規則付 (B)5』を適用する。(ゴルフ規則書 153p 参照)

注 意 事 項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、倶楽部ハウス内並びにスターティングホールのティインググラウンド付近に掲示して告示する。
2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. 規則8(アドバイス)の注記載の『アドバイスを与えることのできる者の指名』は競技の条件の中に記載されていない
4. 正規のラウンド中、競技者はストロークをしたりプレーする上で、競技の援助となるような情報が得られる携帯電話などを使用すれば、規則14-3の違反(競技失格)となるので注意すること。
5. 競技当日のスタート前の練習は指定練習場で行い、打放し練習場においては備付の球を使用し、スタート前の練習は1人コイン1枚(30球)を限度とする。
6. 落下地点の安全確認およびプレー促進のためフォアキャディをおき、旗によって連絡する。
赤旗 : プレーしてはならない。
白旗 : プレーしてよい。
青旗 : OB または紛失の恐れがある。

競技委員長 松村 淳一